

## スズメバチ侵入防止装置 New

### 設置状況



### 原理



左の写真は装置の上蓋を外し上から見た図です。中央の緑のラインが入った白いものが、忌避剤を吸い上げ、蒸散させます。

下の方から侵入しようとするスズメバチは忌避剤に邪魔され中央のバーを決して食い破ることはできません。

### 注意！

- ミツバチの品種によっては、装置からわざわざ出て行ってオオスズメバチを撃退しようとし、被害を受けることがあります。
- ミツバチの行動に変化がある場合は実験を直ちにおやめください。
- オオスズメバチは、巣の周りをうろうろしており、巣門に入れない為か、キイロスズメバチのように1匹毎に捕まえては巣に帰る行動をします。

## 設置方法



左の様に巣門の前に設置しスズメバチの侵入を防ぎます。

## 注意点

### 設置できる巣箱

俵養蜂場さんの巣箱は基本全て設置可能です。

以下条件を記載しましたので、ご注意ください。



巣の入り口がある面が 17 c m 以上必要です。  
また、巣門は 17 c m 以下になるよう何かで塞いでください。



巣の入り口から 1.5c m 以上 4 c m 以下のエプロンが必要です。



巣の下板の厚さは 1 c m 以上 5.5 c m 以下にしてください。



巣門から上方向に 4 c m 以上の高さが必要です。

## 設置方法

1 下図を参照して、巣門の前に付属のクランプ 2 つを使って設置してください。

その際巣門が装置からはみ出ないこと、装置が巣箱に密着していることをご確認ください。

巣門が装置より大きいと、そこからスズメバチが侵入します。

ミツバチが装置になれるまでこの状態で2-3日様子を見てください。



2 装置の穴に付属のロートを差し込む



3 付属の軽量カップを使って、薬液を50cc計り取る。



4 薬液を装置に入れる。



5 ロートを抜き取り、付属の木の棒で穴をふさぐ。



6 この装置の上の板にプラスチック性の板を乗せ付属のピン2本で抑える。

(2週間ごとに新しい板と交換してください。)



この状態で約2週間持ちます。(設置場所の日当たり条件により期間は異なります。)

## 6 薬液とプラスチックの板の補充

付属のロートを差し込んで先端が濡れなくなったら、液を25cc補充してください。これで約2週間持ちます。



左のロートの先は濡れているので、補充の必要はありません。

その後新しいプラスチックの板を天板に載せてください。止め方はピンでとめてください。古い板は、地域によってごみの分別が異なるので一概には言えませんが、多くの自治体で燃えるゴミとして出せます。

## 7 手入れと原理

上の蓋はずれるので、時々外して、ミツバチの死骸が詰まっていないか確認してください。

